

ULTIMATE EJECTION BLOWBACK AEG M4 CARBINE EBB

取り扱い説明書



-警告-
WARNING

ご使用になる前に最後まで必ずお読みください。

対象年齢18歳以上です。使用、管理共に18才未満の方はしないでください。

当製品に使用するリチウムポリマーバッテリー(リポバッテリー)は小型で便利ですが
取り扱いを間違えると大変危険です。

ご使用になる前に必ずバッテリーと充電器の説明書をお読みになって十分にご理解の上使用してください。

当社指定専用バッテリーはTOP JAPAN製11.1V 850mAh High Power Lithium Polymer Batteryです。

充電器はTOP JAPAN製Compact Lipo Balance Chargerです。

誤った使用方法や指定外のバッテリーと充電器を使用しての事故、
故障については当社では一切の責任を負いません。

人や動物、壊れやすい物に銃口を向けないでください。

不用意に引き金を引かないでください。撃つとき意外は指を触れないでください。

銃を持ち出す際は必ずライフルケース又は付属のライフルバッグに入れて持ち運んでください。

射撃時以外はセレクターを常にSAFE(安全)位置にしておいてください。

どのような時でも銃口を絶対に除かないでください。

使用するときは必ずゴーグル等を着用し目を保護してください。

使用時以外はバッテリー、マガジンを外し付属のライフルバッグに収納し、子供の手の届かない所に保管してください。

満充電した当社指定リポバッテリーでの最大発射可能弾数はフルオートで約1000発セミオートではその3分1の数になります。

マガジンの本数にしてフルオート約33本セミオート約10本分になります。

これ以上射撃を続けますとバッテリーが過放電を始める恐れがありますので常に余裕を持って射撃を終了し充電をしてください。

過放電してしまったバッテリーは使用できない状態になる恐れがあります。

当製品はバッテリーを繋ぎマガジンを装填しセレクターをSEMIまたはAUTOの位置にしますと回路に通電を開始します。

使用時以外は必ずバッテリーとマガジンを抜きセレクターはSAFEの位置にしておいてください。

チャージングハンドルを引いての装填、ボルトキヤッチを使用しての装填、イージーチャージングシステムを使用しての装填、

いずれの装填方法においてもセレクターがSEMI又はAUTOの位置にありトリガーを引いたまま装填しますとボルトが戻った瞬间から作動を開始し、BB弾が入っていれば発射されてしまいます。

射撃の直前まではセレクターをSAFEの位置にしてトリガーに触れないでください。

排莢不良、装填不良等のカートリッジを排除する際、にボルトに指等を挟まないように注意してください。

各部品の角が尖っている場合がありますのでケガに注意してください。

射撃後でもカートリッジにBB弾が残る事があります、また構造上マガジンを抜いてもチャンバーに弾が残っている場合があります。

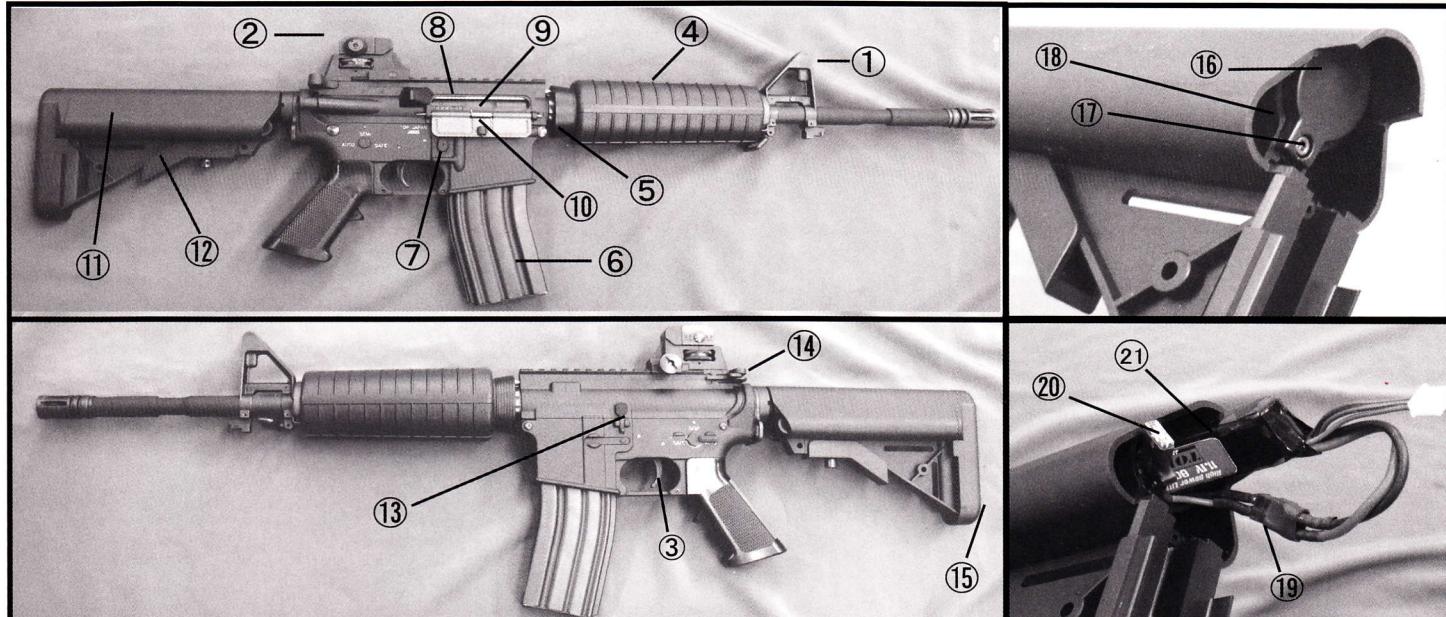
一度使用したBB弾は弾詰まり等のトラブルの原因になります。必ず新品のBB弾をご使用ください。

当商品は非常に繊細な構造をしています。むやみに分解をしないでください。

銃刀法に定食する恐れがありますのでパワーアップ等の改造は絶対にしないでください。

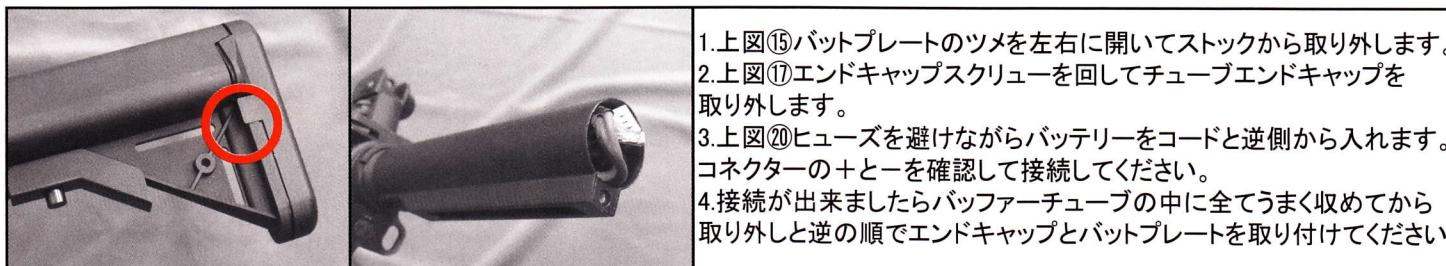
防水機能はございません。絶対に水に濡らさないでください。

●各部の名称



①フロントサイト ②リアサイト ③トリガー ④ハンドガード ⑤デルタリング ⑥マガジン ⑦マガジンキャッチ
 ⑧エジェクションポート ⑨ボルト ⑩ダストカバー ⑪ストック ⑫ストックリースレバー
 ⑬ボルトキャッチ ⑭チャージングハンドル ⑮バットプレート ⑯チューブエンドキャップ
 ⑰エンドキャップスクリュー ⑱バッファーチューブ ⑲バッテリー接続端子 ⑳ヒューズ ㉑バッテリー

●バッテリーのセット方法



バッテリー接続時にコードを引っ張ったり、バッテリーを必要以上に強く押さないでください。
 当製品に使用している接続コネクターは使い始め接続部が少々きつめなので取り扱いには
 注意してください。バッテリーの取り付け、取り外しの時にはコネクターのプラスティックの
 部分を持って行ってください。絶対に配線を引っ張らないでください。
 断線やショート等事故の原因になる可能性があります。
 損傷や異常のあるバッテリーは使用しないでください。
 使用中に異臭や発熱等の他、異常を感じましたら即座に使用を中止してください。

●セレクターの説明

	SAFE 安全位置	トリガーを引く事が出来ません。
	SEMI セミオート(单発)	トリガーを引くと1発ずつ弾が出ます。
	AUTO フルオート(連発)	トリガーを引いている間連続して弾が出ます。



全てバッテリーが接続されている場合です。
 バッテリーが接続されていない場合はSEMI、AUTO共に1発撃つたびに手動で装填、
 排莢をしなければいけません。

● カートリッジへのBB弾の入れ方

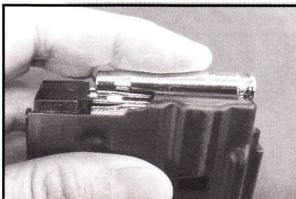


カートリッジ先端の細くなっている方にシリコンオイルを塗布してください。
オイルが切れていると弾詰まりしやすくなります。
カートリッジ1発に付き6mmBB弾を1発、先端から入れてください。
BB弾を入れる時は力を入れずに軽く抑えるかポトンと落とすように
入れるだけで大丈夫です。



BB弾を入れる時に強く押し込みますと弾詰まりの原因になります。
カートリッジに汚れや埃、変形等があると装填不良や作動不良の原因になります。
汚れや埃の場合は除去してから使用してください。カートリッジは消耗品ですので、
変形等の場合は新しいカートリッジをお求めください。

● マガジンのセット

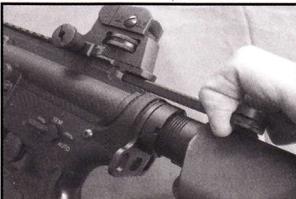


BB弾を入れたカートリッジの前後の向きを間違えないようにしてマガジンに入れます。カートリッジが逆向きに入っていますと作動不良の原因になります。この時BB弾をこぼさないように注意してください。
また、BB弾を入れなくてもカートリッジの排莢のみを楽しむ事も出来ます。
マガジンにカートリッジは30発入れる事が出来ます。
カートリッジを入れたマガジンを上下、前後に注意して本体にセットします。



30発以上入れますと故障の原因になりますので絶対にしないでください。
セレクターがSAFE(安全位置)の位置に確認してからマガジンキャッチがカチッと音がするまで
しっかりとセットしてください。
使い始めは動きが渋い事があります。カートリッジとマガジンフォロアにシリコンオイルをさして下さい。
マガジンの上下、前後を間違えてセットすると破損の原因になります。
バッテリーが接続されていますとマガジンをセットする事で最初のスイッチが入り回路に通電する準備に入りますので使用時以外は必ずマガジンを抜いておいてください。
保管する際はマガジンにカートリッジを入れたままにしないでください。
バネが弱くなり装填不良の原因になります。

● 初弾の装填



バッテリーとマガジンをセットできましたらセレクターがSAFEの位置にある事を確認してください。
チャージングハンドルをいっぱいまで後ろに引いたらそのまま手を離してください。ダストカバーが閉じていてもチャージングハンドルを引くと連動して開きます。
ボルトが完全に閉鎖して初弾が装填できましたら射撃準備は完了です



チャージングハンドルをゆっくり戻すと装填不良の原因になります。
カートリッジが正常に装填できなかった場合、一度マガジンを抜いてからチャージングハンドルを引き装填不良を起こしたカートリッジを排除してください。
チャージングハンドルを引いただけで排除できない場合はボルトキャッチを使用してボルトを後退位置に固定させてから排除してください。この時エジェクションポートやマガジンハウジングから指を入れるのは大変危険です。柔らかい綿棒等でカートリッジのリム(後端部分)に引っ掛けで排除してください。

● イージーチャージングシステム

当製品にはあまり力の無い方でも簡単に装填が行えるイージーチャージングシステムが搭載されています。
バッテリーとマガジンを装填した状態でセレクターをSEMI又はAUTOに位置にしてからチャージングハンドルを数センチ引いて離すだけで初弾の装填が可能です。



このシステムを使用する場合はセレクターをSEMI又はAUTOの位置にしないと作動しませんので不用意にトリガーに指をかけないでください。

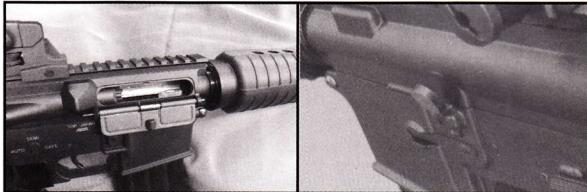
● 射撃

初弾が装填できましたら周りの安全を確認してからセレクターをSAFEの位置からSEMI又はAUTOの位置に動かします。
この状態からトリガーを引けば射撃する事ができますので撃つ直前まではトリガーに指をかけないでください。



トリガーを引いてもBB弾が発射されずボルトも作動しないときはチャージングハンドルが適正位置まで引けてない場合がありますので再度、装填からやり直してください。

● 射撃終了・マガジンチェンジ



全弾撃ち終わるとボルトキャッチが作動してボルトが後退位置で止まる事により、弾が無くなった事を射手に知らせます。カートリッジを装填済みのマガジンに交換すれば続けて射撃ができます。その際の初弾の装填方法はボルトキャッチを押してボルトを前進させるだけです。射撃が終了しましたら、チャンバーにカートリッジが残っていないかを確認し、マガジンを抜いてからボルトキャッチを押してボルトを前進位置にして終了します。



当製品では最後にピストンがコッキング状態で作動が終了しますのでそれを解放する為に一度空撃ちを行う必要があります。この時BB弾が入っているものと考えて周りの安全を確認してから行ってください。
この空撃ちの際、マガジンを抜いておけば通電しないので、ボルトはブローバックしません。ですので、コッキングされる事はありません。使用後は必ずバッテリーを抜き、セレクターをSAFEの位置にし、付属のライフルケースに入れて収納してください。使用時以外は必ずセレクターはSAFEの位置にしてバッテリーとマガジンは抜いておいてください。繰り返し使用していると正常に排出されたカートリッジにも弾詰まり等で発射できない物も出でます。射撃終了後は使用したカートリッジの異常の有無(変形・破損等)と、カートリッジ内にBB弾が残っていないかを必ず確認してください。これを怠りBB弾が残っていた場合、空撃ちのつもりでもBB弾が発射されてしまいます。

● 手動によるコッキング式射撃方法

当製品はバッテリーを使用しなくても、コッキング式エアーガンとしてチャージングハンドルを1回引けば1発の射撃が可能です。この場合、セレクターがSEMI、AUTOどちらの位置にあってもセミオート(半自動 単発)又はフルオート(全自動 連発)での射撃は出来ません。
また、イージーチャージングシステムも機能しません。

● 装填、排莢不良(ジャミング)の解決方法

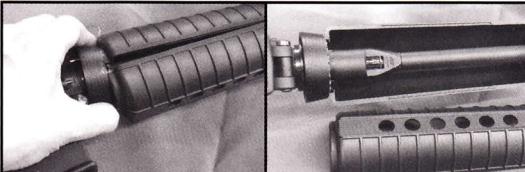


射撃中にカートリッジが正常に装填・排莢されない場合があります。これは実銃でも発生するジャミングと言う状態です。玩具銃・実銃問わず、カートリッジを使用している銃では完全には避けられないアクシデントですので故障ではありません。装填又は排莢不良が発生しましたら、マガジンを抜き、チャージングハンドルを引いて装填又は排莢されなかったカートリッジを排除した後にマガジンを再度銃本体にセットしてください。この時エジェクションポートやマガジンハウジング(マガジン挿入口)から指を入れるのは大変危険です。柔らかい綿棒等でカートリッジのリム(後端部分)に引っ掛けで排除してください。



一度ジャムを起こしたカートリッジは破損、変形のおそれがありますので再利用する場合良くチェックしてください。

● ホップシステムの調整方法



当製品には可変式ホップアップシステムが搭載されております。このシステムは発射されるBB弾に上向きの回転を与え揚力を持たせて、より遠くの目標物に着弾させる物です。
調整方法はデルタリングを後ろに引き下側のハンドガードを外します。アウターバレルの根本の太くなっている部分にホップアップ調整ダイヤルがあります。これを矢印方向に回す事によって強くホップをかける事ができます。また矢印とは逆側に回すとホップを弱めることができます。どちらも回転が止まる部分があり、そこがホップアップの最強、最弱の所になります。
ホップアップをかけ過ぎるとBB弾は上昇してしまい、ホップアップがかかるないと下降線を描きます。
水平飛行を描く弾道が最適な調整位置です。

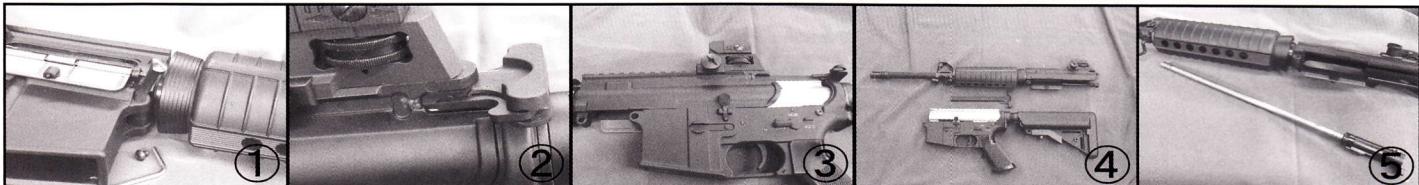


万が一、ホップアップを強くかけ過ぎて弾詰まりが発生した場合は、直ちに射撃を止め、ホップアップ調整ダイヤルをノーマル位置に戻してホップアップを解除し、2~3発撃ってから再調整してください。
使用後は必ずホップアップダイヤルを最弱位置にして保管してください。
これを怠るとホップアップパッキンが変形し、調整不可能になります。

●メンテナンス(通常分解)

性能を維持するために定期的にインナーバレルのクリーニング等のメンテナンスをしてください。

射撃を続けていくと命中精度が落ちていくことがあります。
これは使用しているカートリッジのメッキ部分が剥がれてインナーバレルに入る他、埃等の汚れが付着するために起きます。
この様な時はインナーバレルをクリーニングする事で元の性能を取り戻す事ができます。



カートリッジの入っていないマガジンを銃本体にセットした状態でチャージングハンドルを引き、ボルトを後退位置にします。
図① その状態でエJECTポート前方にあるピボットピンのネジを外しピボットピンも外します。

図②③ チャージングハンドルがレシーバーにロックされてない状態でアッパーレシーバーを前方に抜き取ります。

図④ アッパーレシーバーとロアーレシーバーを外しますとチャージングハンドルが取れますのでご注意ください。

組立時もボルトを後退位置に保持して行いますのでボルトを前進させてしまわない様に注意してください。

図⑤ アッパーレシーバーとロアーレシーバーが外れましたら、アッパーレシーバーからチャンバーごとインナーバレルを抜き取ることができます。

組立は分解と逆の順で行います。

インナーバレルのクリーニングをする時はホップアップダイアルを最弱の位置にして、市販されているエアーソフトガン用のバレルクリーニングロッドに柔らかい布等を巻き、バレル内を拭き取ってください。

この時、布等を必要以上に巻き過ぎて分厚くなってしまうと、チャンバーパッキンやホップアップパッキンを傷めてしまいますが注意してください。ボルトに付いている埃などは市販のエアーダスターなどで吹き飛ばしてください。

組立時にダストカバーがロアーレシーバーに引っ掛かってしまいうまく行かない時がありますので注意して組み立ててください。



メンテナンスの前に必ずバッテリーを抜いておいてください。

これ以上の分解は部品の破損や微細な部品の紛失、

作動不良の原因になる危険がありますので絶対にしないでください。

カートリッジのメッキが剥がれるのは作動上の磨耗で故障や不良品ではありません。

またメッキが剥がれてプラスティックの地肌が見えてくる事でカートリッジの使用限界が分かつてきます。

長く使用したカートリッジのリムの部分の磨耗が激しくなると排莢不良が多発する原因になります。

●トラブルシューティング

症状	原因	対処の方法
作動しない	セレクターがSAFEの位置にある	セレクターをSEMIかAUTOの位置にする
	バッテリーのコネクターが外れている	コネクターをつなぐ
	ヒューズが切れている	切れているヒューズを交換する ヒューズは市販されている ミニブレードヒューズ20Aですが ショート防止のため被服で絶縁されています 交換後は元のように熱収縮チューブ等で 絶縁してください
	モーターが動かない	モーターの寿命か接点、配線、回路の故障 お買い求めのお店か当社にて 修理を受けてください
	正常にカートリッジが排出されていない チャンバーにカートリッジが詰まって ボルトが閉鎖しきらない	装填・排莢不良（ジャミング）の解決方法の項目を 参照してカートリッジを取り除いて 再装填してください
	バッテリーが充電されていない	バッテリートラブルの疑いがあります バッテリーチェッカー等を使用し正常な 状態かチェックし異常がありましたら そのバッテリーは使用しないでください
モーターは動いて いるが弾が出ない	マガジン内でカートリッジが 詰まっている	一度カートリッジを全て抜いてカートリッジと マガジンをクリーニングしてください 落としたりして変形しているマガジンを 使用しますとトラブルの原因になります。 マガジンに変形が見られましたら別売りの スペアマガジンを使用してください

●トラブルシューティング

症状	原因	対処の方法
モーターは動いているが弾が出ない	カートリッジ内にBB弾が残っている	一度BB弾を抜きカートリッジにシリコンオイルを拭き BB弾を入れる時は強く押し込まないでください
	カートリッジが変形している	排莢不良、装填不良を起こしたカートリッジ は変形している可能性があります 特にカートリッジの先端部分が著しく変形 してしまうとBB弾を入れられません 別売りスペアカートリッジを用意するか 変形している部分を修正してからご使用ください
	内部から異常な作動音がする	モーターは回っているがガリガリと削れている様な 音がしている時はギアーのトラブルです お買い求めいただいたお店か当社にて点検、 修理を受けてください
サイクルが落ちてきた ボルトが動かない	バッテリーの電力不足	すぐに使用を中止してバッテリーチェッカー等を 使用し正常な状態かチェックした後 正常な状態でしたら充電してください 異常がありましたらそのバッテリーは 使用しないでください
セミ/フルオート共に 射撃が出来ない	ボルトの閉鎖不良	チャンバーにBB弾や異物が詰まっていると ボルトが定位位置（閉鎖位置）に戻りません チャンバーを確認してください BB弾がこぼれて落ちてしまい干渉している場合が ありますので確認してください。
正常に装填できている のにBB弾だけ発射して ボルトが作動しなかった	スイッチタイミングのズレ、 センサーの誤作動	バッテリーが正常にセットされているか確認後 一度マガジンを抜いて装填の最初からやり直して ください 初弾からセミオートでの射撃の時、 スイッチ類が正常な位置から外れてしまう事があり BB弾発射後ボルトが作動しない時があります。 その時は一度マガジンを抜いて初弾の装填を やり直してください
水にぬれてしまった	危険な状態です	すぐに使用を中止して感電に注意してバッテリーを 外してください。本体内外、バッテリーの水気を除去 し、十分に乾燥させた後にバッテリーをチェックして 異常が無いようでしたら再度セットし、作動チェック を行ってください。この時、異臭や発熱等が無いか必ず 確認してください。誤作動・作動不能等がありました ら、お買い求め頂きました販売店又は当社にて点検 ・修理を受けてください。 バッテリーに異臭・発熱等の異常が見られました らそのバッテリーは絶対に使用しないでください

当製品が故障などを起こした場合にはお買い求め頂きました販売店又は当社アフターサービス部までご連絡
ください。修理依頼品を当社アフターサービス部までお送りいただける場合は、①郵便番号、②住所、③氏名、
④電話番号（連絡の取り易い番号）、⑤メールアドレス、⑥FAX番号、⑦製品名、⑧故障内容（なるべく詳細に）
を明記したメモを必ず添えてください。

修理期間は時期により変わりますので事前にお問い合わせください。

修理品の往復送料は基本的にお客様のご負担になりますので、ご了承ください。

安全性に問題のある改造品カスタムパーツの組み込まれた製品等の分解改造の形跡が見られる
製品は修理をお受けできません。

ULTIMATE EJECTION BLOWBACK AEG M4 CARBINE EBB

全長 約812/895mm (ストック伸長時)

重量 約2300g

装弾数 30発 弾丸 6mmBB弾

初速 約85m/秒 発射サイクル 約780発/分

電源 TOPJAPAN 11.1V 850mAh High power Lithium Polymer Battery(別売)



〒131-0031 東京都墨田区墨田2-8-7
TEL 03-3612-5539
E-mail: ebbsoort@top-airsoft.co.jp